

序 文

動物園、水族館、植物園、自然科学系博物館等における学芸員として教育および研究に携わりたい学生や受験生の期待に応え、九州保健福祉大学学芸員養成課程が、平成 21 年度に薬学部動物生命薬科学科に設置されました。関係する皆様のお蔭をもちまして、設置から既に 4 年の年月が経ち、現在、「認定動物看護師資格をもった学芸員」として動物園等への就職を目指す学生が博物館学科目や動物関係科目の勉学に励んでおり、既に、動物園に就職した卒業生も輩出しております。

また、この「九州保健福祉大学博物館学年報」は、この学科の第一期生が卒業する平成 23 年度に発刊され、この度は第 2 号となります。第 1 号につきましては、本学や博物館等に関係する方々へ届けさせて頂き、本課程へのご理解を賜りました。この紙面をお借りして、心から感謝申し上げます。

動物生命薬科学科は、創薬に必須である実験動物学および動物看護に必要な医薬品に関する科学を学修する学科ですので、動物や動物の疾病に関することを多く学びます。一方、この学科が配置される薬学部は、大学設置基準により薬用植物園の設置が義務付けられておりますので、本学部附属薬用植物園を活用して、本課程科目である「薬用植物学」の授業が行われます。そうした意味で、本課程は、動物園および植物園の両方の専門学芸員を育成することができます。

本課程の中において最も重要な科目「博物館実習」は、平成 23 年度に初めて開講しました。この授業の一環である館園実習（学外実習）では、本課程の履修生が多くの動物園、水族館および博物館にたいへんお世話になりました。これにつきましても、この場をお借りしてお礼申し上げます。また、この授業の別の一環である一般向け展示（学内実習）では、平成 23 年度は、本学学生会館において「タヌキ展」を開催し、平成 24 年度は、延岡市民協働まちづくりセンターにおいて「動物園があった時代(ころ)」を開催しました。特に、後者は、マスコミにも報道され、延岡市民の方々から大好評を得ることができました。

以上のように、本課程の教育は、多くのさまざまな方々のご理解およびご協力により成り立っております。今後、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようどうかよろしく願い申し上げます。

平成 25 年 2 月

九州保健福祉大学
薬学部長 本屋 敏郎